

街頭写真から「色に対する気分」を見ることにする。

**A: 目立つカラー**：身に着けているアイテムの中で彩度の高い色動向

**B: 着装カラー**：着ている服の色動向

**C: アイテム別動向**：カラー中心にデータから見た特徴、街頭写真など

天候の回復を待って、2月上旬の撮影になりましたが、1月編としています。

**A: 目立つカラー** (服以外含む)

身に着けているアイテムの中で、彩度の高いカラー **1色** を目立つカラーとする。

(同彩度は明るい色優先、柄物などはその中で分量が多く目立つ色 - 色相では彩度の高い暖色系優先)

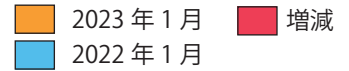
(目立つカラーの設定上、低彩度方向、暗い方向は量的に少なくなる)

概要

日時 2023年2月 4日 11度  
2022年1月 26日 11度

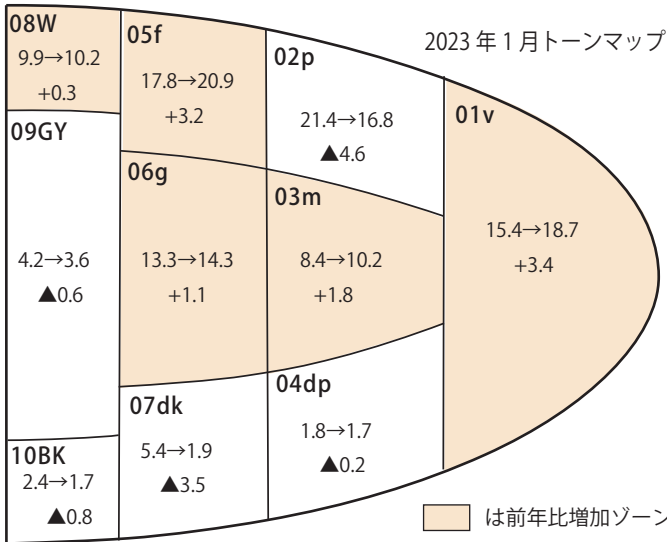
場所 神戸元町 (神戸大丸近く)  
対象 20-50代女性

棒グラフ対応カラー



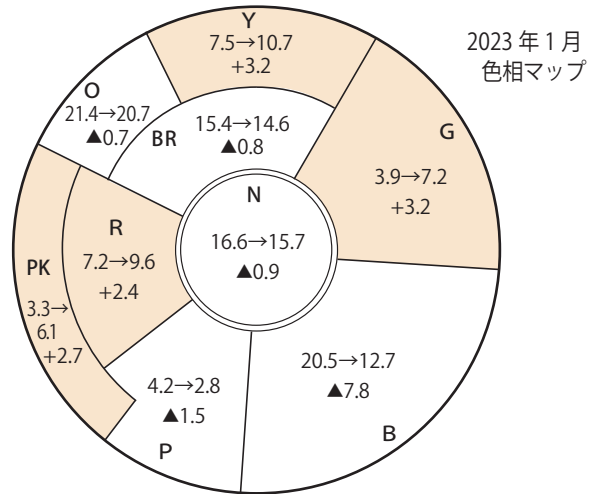
トーンの特徴

v(鮮やかな)、f(かすかな)が増加と量的でもリード  
m(にぶい)、g(灰み)が増加で続く  
減少はp(淡い)、dk(暗い)が目立つ



色相の特徴

グリーン、イエローがリード、ピンク、レッドが続く  
減少はブルーが目立ち、パープルが続く  
ニュートラル、ブラウン、オレンジは少し減少  
量的には、ニュートラル、ブルーが多い



具体的カラーの特徴

上記トーン別に色相の増減を見ると、より具体的なカラーがわかる

増加トーンで、増加色相は

- ・ f(かすかな)では  
ピンク、黄 +1.3> オレンジ +1.1
- ・ v(鮮やかな)では、p(淡い)では  
黄 +2.7> 緑 +1.6
- ・ m(にぶい)では、茶 +2.7
- ・ g(灰み)では、緑 +1.9> 青 +0.7

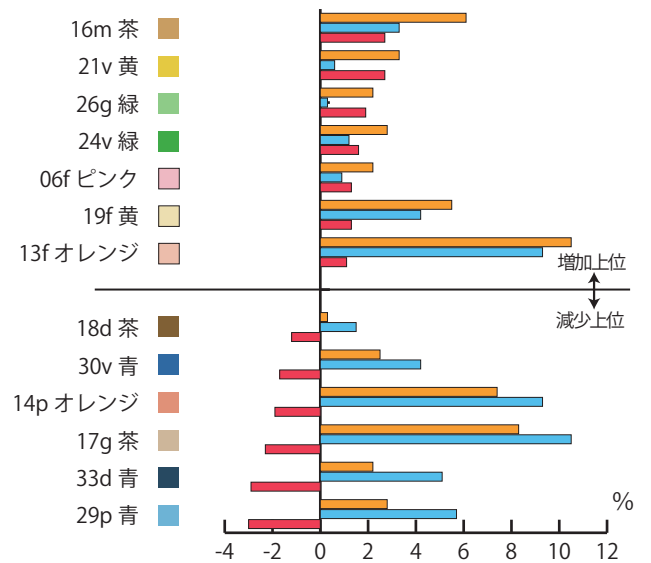
減少トーンで、増加色相は

- ・ p(淡い)では、ピンク、緑 +0.7のみ
- ・ dk(暗い)dp(濃い)では  
赤 +0.5、緑 +0.3のみ増加

増加トーン、色相でのアイテムを見ると、

fピンクは首まき、f黄はコート  
量的に多いfオレンジはスカート、ジャケット、コート  
v黄はセーター、スカート v緑はセーター、パンツ  
量的に多いv赤は首巻きが目立つ  
m茶はスカート、g緑はジャケット

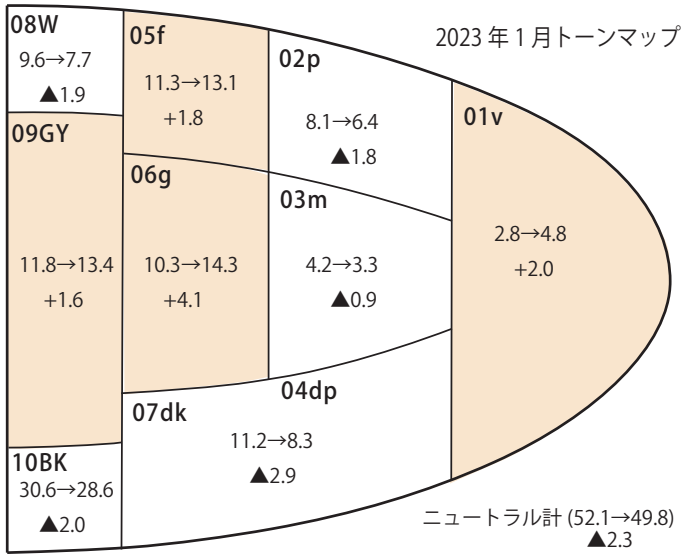
詳細な目立つカラー増減順位 (上位)



増加上位は緑、黄が2つ登場、vは2色、fは3色登場  
かすかなfは白の発展となっている  
減少は、青系、茶系が多い

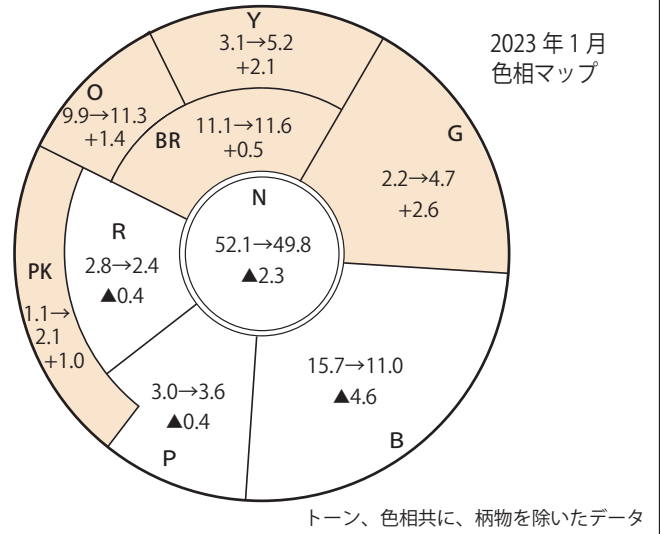
トーンの特徴

低彩度方向のgが急増、低彩度のfとGY、高彩度のVが続く  
反対に、暗い方向のdk(dp)、BKと白、中彩度が減少



色相の特徴

目立つカラー同様、中性色、暖色系が増加  
グリーン、黄がリード オレンジ、ピンクが続く  
反対に、ブルーが大きく減少、ニュートラルが続く



具体的カラーの特徴

上記トーン別に色相の増減を見ると、より具体的なカラーがわかる

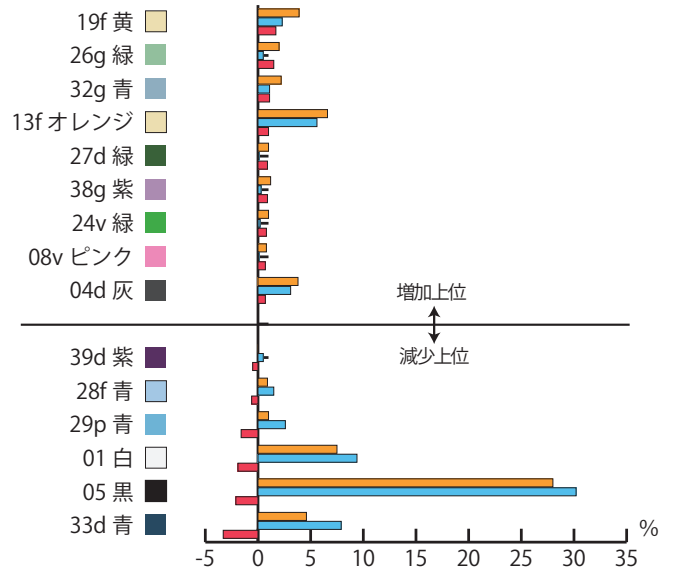
増加トーンで、増加色相は

- ・g(灰み)では  
 緑 ■ +1.5 > 青 ■ +1.1 > 紫 ■ +0.9  
 減少はピンクのみ
- ・f(かすかな)では  
 黄 ■ +1.7 > オレンジ ■ +1.0
- ・v(鮮やかな)では、  
 緑 ■ +0.8 > ピンク ■ +0.7 > 黄 ■ +0.6
- ・GY(灰)では、+1.6(内訳 DG ■ +0.7、LG ■ +0.6)

減少トーンで、増加色相は

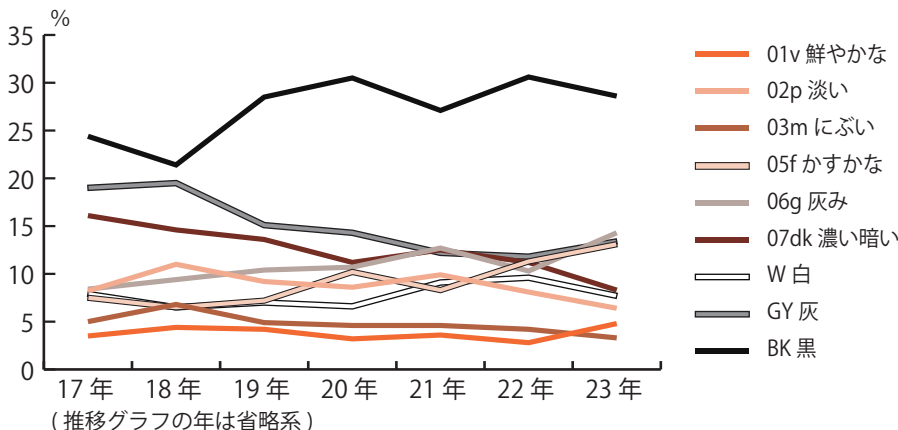
- ・dk(暗い)では、緑 ■ +0.9のみ 他は全て減少
- ・p(淡い)では、オレンジ ■ +0.2
- ・BK(黒) ■、W(白) □ は、共に大きく減少

詳細な着装カラー増減順位(上位)



fが2色、gが3色がリード vが続く  
減少は青系、ニュートラル系が目立つが、量的には多い

1月度 9トーン別着装カラー推移(2017年~2023年)



23年までの7年間推移を見ると、黒が安定1位も、23年には減少、ダークは減少傾向が目立つ  
7年間でトーン1位の年を見ると、23年は、  
 灰み 14.3、かすかな 13.1、鮮やかな 4.8  
 22年は、白 9.6  
 21年は、なし  
 20年は、黒 30.5  
 19年は、なし  
 18年は、淡い 11.0、にぶい 6.8、灰 19.5  
 17年は、濃い暗い 16.1

C: アイテム別動向: カラー中心にデータから見た特徴、街頭写真 (カラーナンバー 40 番から 49 番までは柄物)

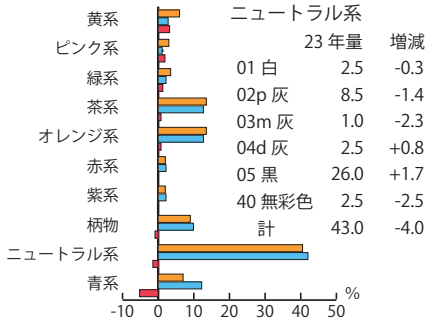
見える分量の多い4アイテム(コート、ジャケット、スカート、パンツ)について、着用動向を見ることにする。  
 ニット(セーター、カーディガン)、ドレス、カットソーについては、部分的に見られる(袖口など)色を含めたカラーデータになっている。(ブラウスは特に少ないのでカラーデータなどは掲載していません)  
 アイテム(見える分量でなく、各1として計算)で少し増加はコート(+1.5=20.0→21.5)、ジャケット(+1.4=15.4→16.8)、  
 スカート(+1.6=15.5→17.1)で、パンツ(-4.0=19.1→15.0)は減少。  
 ニット(+4.0=15.6→19.6)は増加、ドレス(+1.6=2.5→4.1)が続くが、カットソー(-4.0=8.1→4.1)、ブラウス(-2.2=3.0→0.9)は減少。

コート

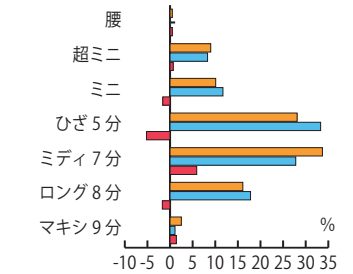
色では、黄系、ピンク系、緑系がリード、反対に、青系、ニュートラル系が減少  
 詳細では、f(黄、ピンク、オレンジ)、黒、g(茶、緑)が伸びる

コート丈増減

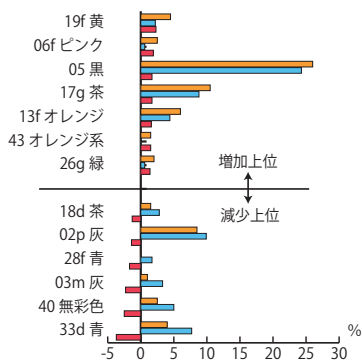
集約した色相増減(増加順)



ソフト、グレイッシュカラー



詳細カラー増減(上位)



黒、ダークカラー



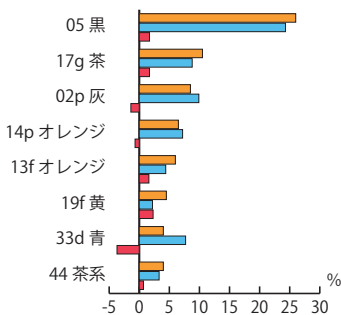
チェック



中綿、ダウン



詳細カラー量 順位(上位)



ビビッドカラー



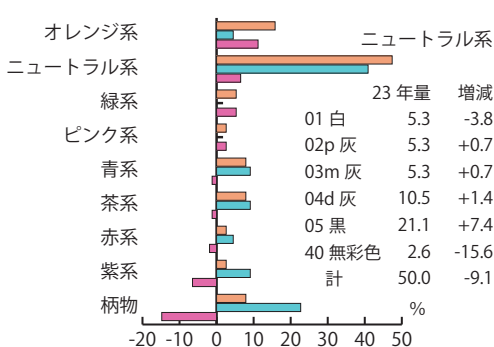
素材組み合わせ



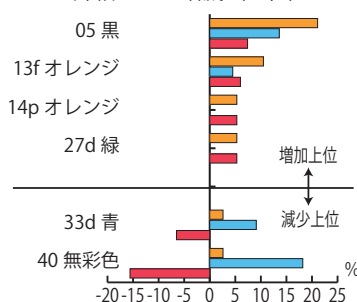
ドレス

色では、オレンジ系、ニュートラル系が伸び、柄物が大きく減少

詳細カラー増減(上位)



詳細カラー増減(上位)

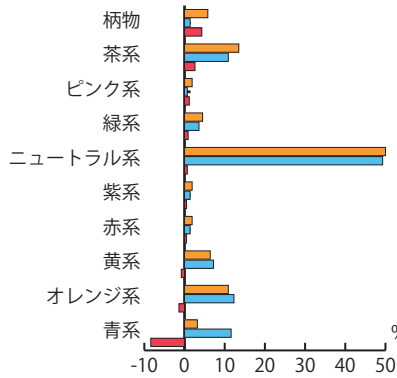




# ジャケット

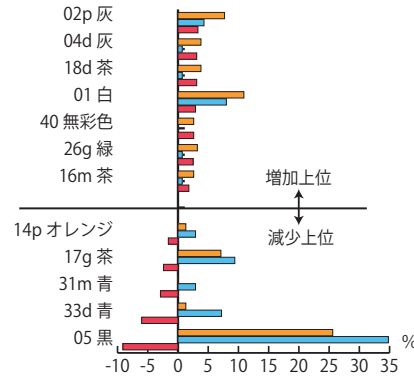
色では、柄物、茶系、ピンク系がリード 青系が大きく減少  
 詳細では、灰、d 茶、白がリード、黒、d 青が減少 黒は減少でも、量的には目立つ

集約した色相増減 (増加順)

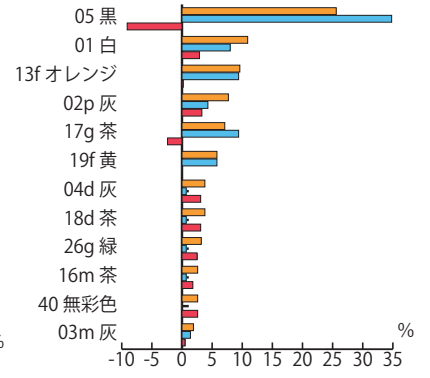


ニュートラル系	23年量	増減
01 白	10.9	+2.9
02p 灰	7.7	+3.3
03m 灰	1.9	+0.5
04d 灰	3.8	+3.1
05 黒	25.6	-9.1
40 無彩色	2.6	+2.6
計	52.6	+3.3

詳細カラー増減 (上位)



詳細カラー量 順位 (上位)



薄いカラー



グレイッシュカラー



ライトカラー



ダークカラー



幾何、ライン縁取り



幾何、ライン縁取り



黒

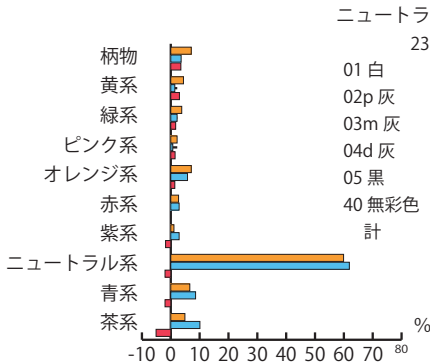


素材、アイテム組み合わせ

# セーター、カーディガン

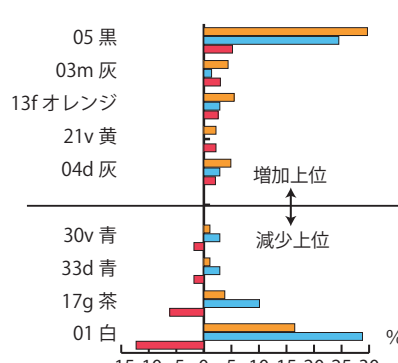
色では、柄物、黄系、緑系がリード、茶系が減少  
 詳細では、黒、灰が伸び、反対に、白が大きく減少、g 茶も続く

集約した色相増減 (増加順)



ニュートラル系	23年量	増減
01 白	16.5	-12.3
02p 灰	4.4	+0.1
03m 灰	4.4	+3.0
04d 灰	4.9	+2.1
05 黒	29.7	+5.2
40 無彩色	2.2	-0.7
計	62.1	-2.7

詳細カラー増減 (上位)



柄



ビビッドカラー



ソフト、グレイカラー





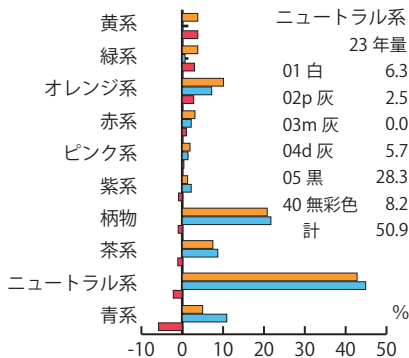
## スカート

色では、黄系、緑系、オレンジ系が増加  
 詳細では、f オレンジ、f 黄、d 灰がリード

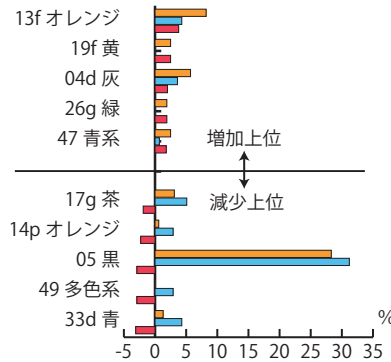
青系、ニュートラル系が減少

スカート丈では、8分がリード、超ミニも伸びる

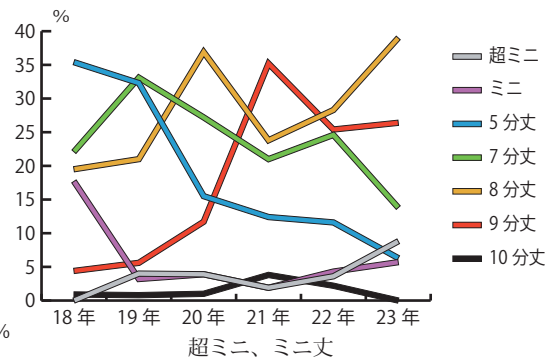
集約した色相増減 (増加順)



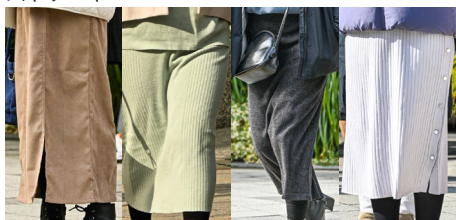
詳細カラー増減 (上位)



1月度 スカート丈増減 (2018年~2023年)



ストレート



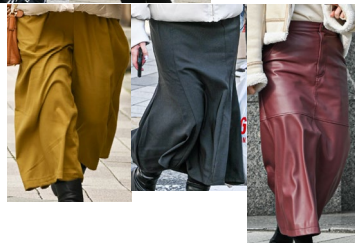
フレアー



チェックなど



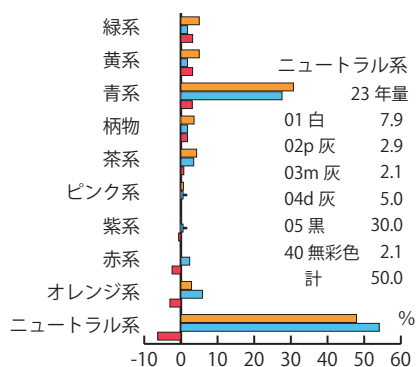
ギャザー、プリーツ



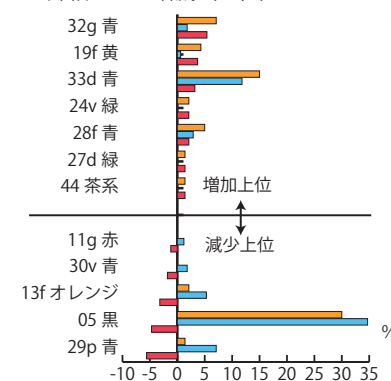
## パンツ

色では、緑系、黄系、青系がリード ニュートラル系は減少  
 パンツ巾では、バギーが少し増加

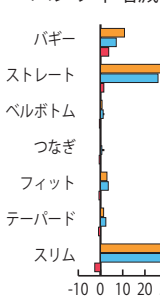
集約した色相増減 (増加順)



詳細カラー増減 (上位)



パンツ巾増減



バギー



チェック



スリム、ストレート

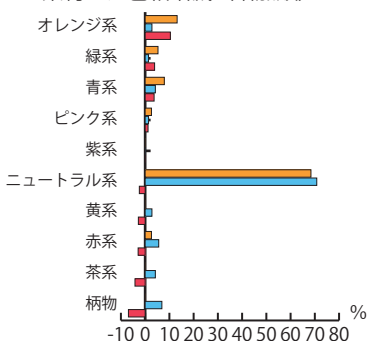


## カットソー

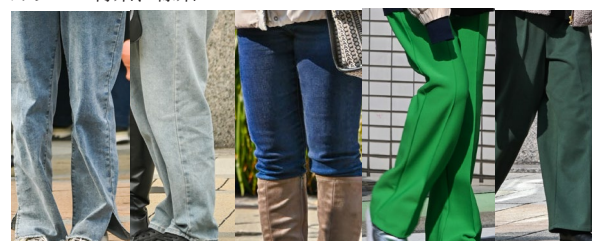
色では、オレンジ系がリード  
 白が伸び、黒、柄物が減少

色相	23年量	増減
ニュートラル系	01 白	39.5 +3.4
	02p 灰	10.5 -0.6
	03m 灰	2.6 +2.6
	04d 灰	0.0 -1.4
	05 黒	15.8 -6.4
	40 無彩色	0.0 -5.6
計		68.4 -8.0

集約した色相増減 (増加順)



カラー 青系、緑系



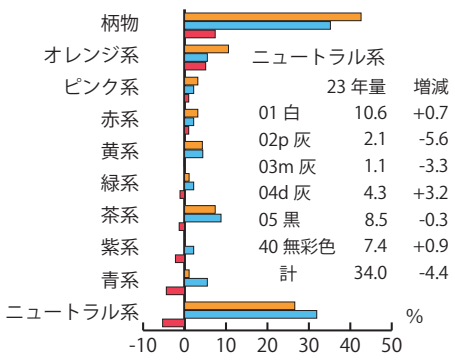


# 首巻き

柄物、オレンジ系が増加 ニュートラル系、青系が減少  
柄物増加が、目立つカラーのアイテム別増加1位に貢献

寒さ対策で、ボリューム使いが多い  
多様な素材感、巻き方工夫

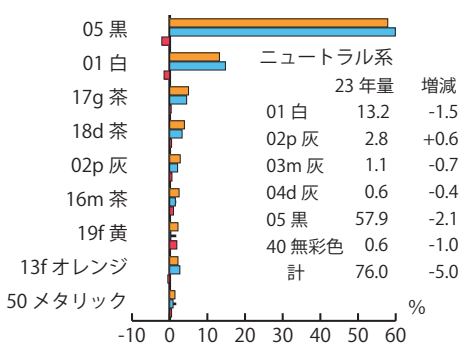
集約した色相増減 (増加順)



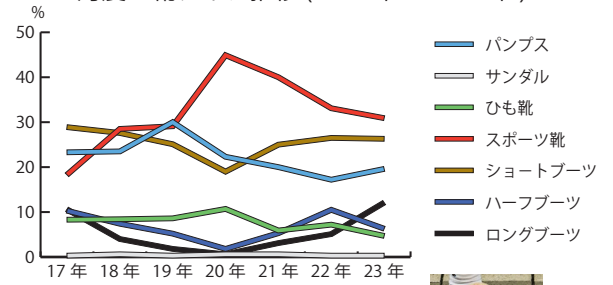
# 靴

色では、ニュートラル系が80%弱と健在  
靴タイプでは、ロングブーツが急増、パンプスが続く

詳細カラー量 順位 (上位)



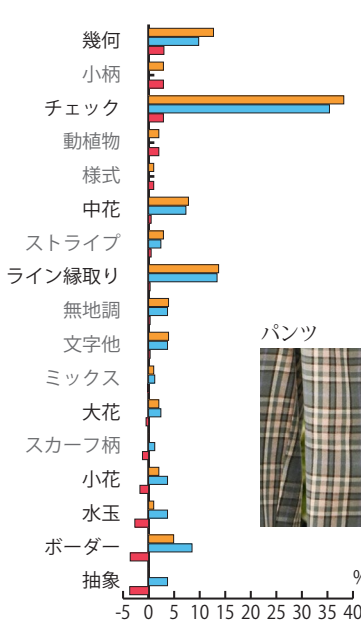
1月度 靴タイプ推移 (2017年~2023年)



# 柄

量的には、総柄ではない文字他、ライン縁取り、無地調を除くと、幾何、チェック、中花が多い

柄タイプ増減 (増加順)



アイテム別 柄タイプ増減では、1.2~-1.2を省略して、増減の大きい柄タイプのみをチャートにした関係で、左増減柄タイプの上位でも省略している (グレー文字対応)

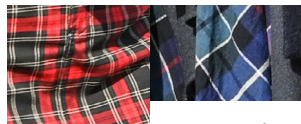
右アイテム別柄を見ると、チェックはコートが減ってスカートが増加、幾何はスカートが減ってジャケットが増加している

右下の新規登場のアイテム別色を見ると、アイテムの色系を比較することが出来る  
右端の計で見ると、茶系 9.0、緑系 7.1、青系 5.1 が色タイプ増加上位となっている

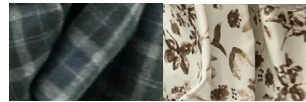
パンツ



スカート



ドレス



コート



ジャケット



セーター



柄 アイテム別 柄タイプ増減

(1.2~-1.2は省略 計は除く)

	ニット	パンツ	ジャケット	スカート	ドレス	コート	カットソー	計
幾何	2.7		2.0	-3.2				3.0
チェック	2.0	1.5		4.7		-4.3		2.9
ライン縁取り	2.7		-2.7					0.3
大花				-1.5				-0.5
小花					-2.4			-1.7
水玉				-1.5				-2.7
ボーダー	3.7						-6.1	-3.6
抽象	-2.4							-3.7
計	12.1	1.2	0.8	0.4	-3.2	-5.3	-6.8	

柄 アイテム別 色タイプ増減

(アイテム別赤色計の数値が柄と色とで違っているのは、色タイプでは「無地調、ライン縁取り」の柄データを除いているからです)

	ニット	パンツ	ジャケット	スカート	ドレス	コート	カットソー	計
無彩色	-1.1	0.7	4.9	-2.1	-4.8	-7.5	-6.1	-16.0
ピンク系			-0.3	1.2				1.0
赤系				2.2	-1.5	-1.5		-0.8
オレンジ系				-3.0		3.7		0.7
茶系	3.7	2.5	1.0	1.3	1.2	0.8	-1.5	9.0
黄系	1.2			0.7				1.0
緑系	2.5		1.2	1.0	1.2	1.2		7.1
青系	2.2	-1.5	1.2	3.4		-0.3		5.1
紫系				-0.3				-0.3
多色系				-6.1		-1.5		-7.6
計	8.5	1.6	8.1	-1.7	-3.9	-5.1	-7.6	